

友だち



『ネコになりたかったクモのルイージ』

ミシェル・ヌード・セン/さく
ケビン・ホクス/え
福本友美子/やく
岩崎書店



大きなクモがソファの下でねていると、おばさんにネコとかんちがいされちゃった!クモは、ルイージとよばれていっしょにあそぶうちに、ネコのふりもいいかもと思いはじめました。



『ぼくは学校ハムスター 1』

ベティ・G.バーニー/作
尾高薫/訳
ももろ/絵
偕成社



学校に通うハンフリーは、人のことがわかるかしこいハムスター。大好きなマック先生といつもいっしょにいたのに、マック先生はハンフリーをのこして学校からいなくなっちゃった!



『あたしデイズ』

いとうみく/作
平澤朋子/絵
新日本出版社

いどうはんぎなかよ移動教室の班決めて、仲良しのガッコとコマリからおなはん同じ班に入れてもらえなかった。理由を聞いても「言わなきゃわからないの?」「自分で考えなよ」。あたしはふたりに何をしたの?

楽しい



『すごいぜほんのちからって! モーリスのおうちはライブラリー』

デイ・エイ・グレイ/ぶん
ロレンツォ・サンジヨ/え
はしづめちよこ/やく
イマジネーション・プレス



ネズミを食べるために、ネコのモーリスが思いついたのは、声を出して本を読むこと。お話を聞きにきたネズミたちを、つかまえる作戦だ。はたして、うまくいくのかな?

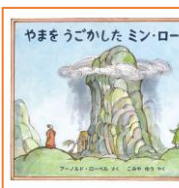


『うらがえしサンタ』

荻田澄子/作
高畠那生/絵
佼成出版社



クリスマスイブにねぼうしてしまったサンタさん。赤いふくをうらがえしにきてしまい、黒いサンタになっちゃった!このサンタさん、いつものやさしいサンタさんとちがって、ちょっとこわそう。



『やまをうごかしたミン・ローさん』

アーノルド・ローベル/さく
こみやゆう/やく
好学社

山のふもとの家を気に入っている、ミン・ローさんとおくさん。でも岩がおちてくるので、山のことは好きではありません。そこで、山をうごかすほうほうを、村のけんじやに聞いてみることにしました。



本の世界は楽しいよ!

としょかん図書館にはワクワクする物語や面白い図鑑など、たくさんの種類の本があります。

いろいろな本を手にとって、自分に合う本を探してみよう。



ふしぎ

『お直しで大解決!ターニングヒーローズ』

高森美由紀/作
岩崎美奈子/絵
文研出版

りゅういちそふようふく竜一の祖父は洋服のお直し(ターニング)の店をしていた。クラスメイトの乙葉が店に行くと、山の精が布を持って現れ、竜の目沼の洪水を止めてほしいと言う。この布で、どうやって止めるのだろうか。



→ あだち電子図書館で読める本



→ 読みやすい本

あだち電子図書館
くわしくはコチラ





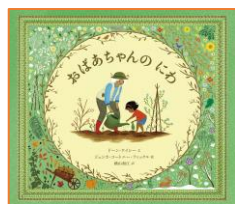
かぞく



『ふでばこのくにの冒険』 ぼくを取りもどすために』

村上しいこ/作
岡本順/絵
童心社

しゅうと
修人のふでばこの中のぶんぼうぐたちは、だれも見
ていない間だけ、動いたり話したりできる。修人がマ
マに会えなくて苦しんでいることを知ったぶんぼうぐ
たちは、ある作戦を立てる。



『おばあちゃんの にわ』

ドーン・ケイシー/文
ジェシカ・コートニー・ティックル/絵
横山和江/訳
出版7クズ



おばあちゃんのにわは、しぜんのまま。それは、おば
あちゃんがいなくなってもかわらない。めがでて、花
がさき、葉がおちて、雪で白くなる。わたしは、このに
わを大切にしていく。

たび

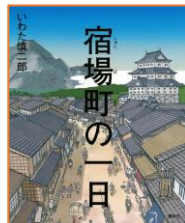


『ポラン先生ときけんな マジックショー』

北川佳奈/作・絵
小学館



北国の森でひっそりくらしているタヌキのポラン。冬
のある日、カモのドリがたずねてきます。食べすぎで
とべないし、列車にのるお金もないから、家族のまつ
南国へつれて行ってほしいというのです。



『宿場町の日』

いわた慎二郎/作・絵
講談社

えどじだい じんじや
江戸時代、神社へおまいりする人、手紙をはこぶ
ひきやく たび
飛脚など、いろいろな人が旅をしていました。旅館
があつまつた じゅくばまち
宿場町では、夜明けまえからおきだし、
朝ごはんのじゅんびがはじまります。

知る



『むげんことわざ ものがたり』

大串ゆうじ/作
偕成社



ことわざと慣用語が、ゆかいな絵といっしょにつなが
って、物語のようにすみます。始まりは「犬も歩け
ば、ぼうに当たる」です。どんなお話になるのかな？



『いろ・いろ 色覚と進化のひみつ』

川端裕人/作
中垣ゆたか/絵
講談社

赤いりんごを茶色にかく人もいます。でもこれは、お
かしなことではありません。人によって、色の見え方
はちがうのです。色の見え方のちがいをさぐってみま
しょう。

見つける



『すごい！ ミミックメーカー 生き物をヒントに世界 を変えた発明家たち』

竹内薫/監修 ノートストム/文
ボストン/絵 今井悟朗/訳
西村書店

ヤモリの歩くようす
を見て、くつつくシートを考えつくな
ど、自然のすぐれたところをまねして、便利
な発明品を作る人のことを、ミミックメーカーといいま
す。ワクワクする発明がいっぱいです。

はたらく



『ブックキャット ネコのないしょの仕事！』

ボリー・フェイバー/作
クララ・グリアミー/絵
長友恵子/訳
徳間書店

せんそうちゆう
戦争中に生まれたネコのモーガン。あることから
しゅっぱんしやせんぞく
出版社専属の「ネズミとネコ」となりました。さら
にモーガンは、やってくる作家たちを観察し、見こみ
がある人かを選ぶ手伝いを始めました。



『あおをはっけんした ちいさなヤン みならいえかきのおはなし』

ジャン・リュック・アングル・ル・サル/さく
はしづめちよこ/やく
イマジネーション・プラス



ヤンは絵かきのみならしいです。ある日、ほかのみなら
いたちが出かけてしまいました。ヤンはひとりのこっ
て、いそがしく絵のぐを作ります。すると、びっくりする
ようなことがおきたのです。



『黒部の谷の 小さな山小屋』

星野秀樹/写真・文
アリス館

高い山にはさまれた黒部の谷底に、阿曾原温泉
の小屋があります。雪が多い場所なので、毎年山小屋
の人たちは、冬が来る前に屋根や壁をはずしてか
たづけて、夏に建て直す作業を行っています。



『100年 見つめてきました』

吉野万理子/作
川上和生/絵
講談社



わたしは飛行塔。遊園地の乗りものとして、生駒山
に造られました。それから100年近く、山のてっぺん
からいろんなものを見ました。どんなできごとが
あったのか、お話しします。



『はじめての着衣泳教室 海浴、川遊び、プール、 豪雨、津波など水の事故 から命を守る』

岩崎恭子/著
誠堂新光社



着衣泳では、あお向けになって浮く「背泳ぎ」の
練習をします。服を着たままでうまく泳げないの
で、浮いたまま救助を待ちます。泳いで体力を使う
より、助かる可能性が高くなるからです。